

そ う

2009年度
砂川市立石山中学校
1年B組 学級通信
「そ う」 No.82
9月30日(水)
担任 佐々木 芳

誰のためにやろうとしているのかが重要

～「最低2人以上」をどうとらえるか～

生徒会役員選挙に向けて、1 Bからは3人の候補者が出馬している。当選したら、自分たちの学級の顔から石山中学校の顔となる存在となるのだ。生徒会に意見をもの申すときに、自分たちの想いが生徒会に届きやすくなるはずだ。

最後のお願いをすることとなる、選挙活動。知名度の低い1年生だからこそ、たくさんの方々に自分たちの存在を知ってもらい、自分たちの名前を知ってもらい、自分たちのやりたいことを知ってもらい、生徒会役員に当選させてもらわなければ。真面目な人間達だからこそ、人柄をアピールして当選させてもらわなければ。

泣いても笑っても残り、3日間の選挙戦。全員の協力が必要だ。

3つのうちのグループのうちの1つのグループ。協力体制が、かなり強固になってきた。1回の選挙活動に最低2人以上でやってみたらという佐々木の提案に対して、3人ずつの人間を配置した。3人いたら当選させることができると踏んだ上手な取り組みだと思った。

今回の選挙ですごいと思うことが3つ。

- ①3人には生徒会役員になったら、自分がこういうことがしたいという想いがあること。
- ②迷いではなく、自分からやってみたいと言っていること。
- ③候補者と相談し、応援責任者を決め、お願いした人が迷わずに「いいよ」と、すぐに快諾してくれたこと。

365日間のうちの3日間。24名(1 B 全員)－6名(立候補者、責任者)の18名ができることを考えてもらい、一致団結した協力ががんばろう!!

例え、どんな結果になったとしてもがんばりきったときは、すがすがしいもの。すがすがしさを求めて全力投球だ!!

全力で1Bの3人を応援しよう!

人の話がよく分かる理由

～「聞いたら、おもしろいんじゃないかと思う気持ち」・コップは上向きに～

昨日、PTA 講演会がありました。PM6:30 から PM8:30 の2時間にわたる講演会でした。今回の講演会は、「あつ」と言う間の2時間でした。

来てくださったのは、坂本勤さん。大人には「タマゴマン」の坂本さんと言えば分かってくれる方も多いのですが、みんなは知らないだろうな～。わざわざ遠方からはるばる来てくださいました。

内容はというと、子育てに関する話が主でした。佐々木家の父さん、1 B の父さんとしてがんばる勇気もらった2時間でした。「おもしろい」「勉強させていただいた」「違う話題で、もう一度聞いてみたい」そんな印象です。

「めっちゃ仲の良い友達が話す話」「苦手な友達が話す話」「校長先生の話」「生徒指導の先生の話」「担任の先生の話」「授業時間や部活の時間のいろんな先生の話」「父や母、祖父や祖母の話」「習い事の先生の話」「大好きな芸能人が話す話」「大嫌いな有名人が話す話」等々、みなさんは、話を聞くときに同じ意識ですか。

絶対に同じではない。この人の話を聞こうと思ったときには「めっちゃわかる」し、この人の話は聞いても思ったときには「何を言っているかわからない」そんなものではないです。

例えば、織田裕二が大好きな佐々木。織田裕二の言っていることに「よくわかる、なるほどそう言う考え方があるんだ」と、うなずいてみたりする。同じ話を大嫌いな芸能人が言ったら「何を言っているんだ、意味が分からない」と言ったりする。

人間って、言ってもらったことを考える前に違うことを考えているものだったりする。人の話を聞くとき、「きっと、おもしろいこと、勉強になること言ってくれるぞ」と思って聞いてみると世界が変わるのです。

今回の坂本先生の講話。きっと、勉強になることを言ってくれるんじゃないかと思い、筆記用具を持参(メモの準備を)しました。佐々木には、佐々木の父、母にしてあげたいことが見つかりました(内容は秘密)。

授業中も同じだし、校長先生の話も同じです。自分が聞いてみようと思う気持ちこそ、相手の言っていることを理解できる時なんだと佐々木は思います。

校長先生の話をあくびをしながら聞いていた、はなたれ小僧だった佐々木(36歳)も少しずつ本当の勉強の仕方が分かってきたような気がします。

明日から、今日から、人の話を聞く姿勢に自分の意識を集中してみませんか。

今回の講演会。本当に素敵な講演でした。私たち石山中学校 PTA のために来てくださり、話をされたタマゴマン(坂本先生)に大感謝です。

来年はどなたを呼んでくださるのか、今から楽しみです。PTA 教養部の方々、裏方役お疲れ様でした。